

ここが聞きたい

一般質問



一般質問とは、議員が自身の考えや市民の皆さんの声をもとに市の行財政全般について方針や執行状況などを質問することです。

学校規模に対応した教育の今後の方向性は

児童生徒や保護者等の意見に耳を傾け、多角的に分析し、取りまとめていく



まの ひさかつ
真野 尚功
自由民主党田原市議団



市内の小中学校の在り方について

問 学校規模に対応した教育の取り組みと方向性は。
答 多くの学校は、現計画に定める適正規模の範囲内である。児童の少ない小学校では小規模校間連携を進めている。今後は児童生徒やその保護者、地域の意見に耳を傾け、多角的に分析し、新たな学校未来創造計画を取りまとめていく。

問 通学区域を柔軟に運用し、居住する校区外の小規模校へ通学できる小規模特認校制度の評価は。
答 大人数の環境を苦手とする子が学校に通いやすくなる一方で、他の学校の小規模化を加速する恐れがあるため、導入には慎重な検討が必要である。

問 小規模特認校制度の導入について、保護者や児童生徒、地域住民の意見を聞く考えは。
答 小規模特認校制度を含め、より良い教育環境の実現には、保護者や児童生徒、地域の皆さんの意見が重要であると認識している。学校未来創造計画を改定する際には、幅広く意見を伺っていく。

問 コミュニティ・スクールの取り組みと方向性は。
答 市内の小学校18校のうち12校、中学校全4校の計16校が導入し、学校を核として地域づくりを推進している。今後は優良事例の横展開を図るなど、活動内容の充実と活性化を推進していく。

問 学校運営協議会で、学校の小規模化について主体的に検討することについての考えは。
答 地域の皆さんが子どもたちの将来を真剣に考え、地域と学校の共通の課題としての協議の場になると考えている。

